第12期前半期（2011年度）活動経過報告（詳細）

【重点活動】

勤労・生活者支援

勤労者・生活者を取り巻く環境は依然厳しく、加えて東日本大震災により日本経済に甚大なる影響を与えるとともに、取り巻く環境がさらに悪化する中、産別・地協・県連合が一体となり一歩一歩ではありますが活動を進めてきた結果着実に前進することができました。また、さらなる活動強化に向けて課題や要望などを共有認識するとともに、雇用・労働環境の改善に向け取り組みました。

１．政策提言と実現

2012年度政策・制度要求と提言は、県民意識調査で把握した11,014名の県民ニーズをもとに、雇用・労働政策を重点課題とし策定しました。

また、連合の掲げる新ビジョン「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて示された「2012～2013年度政策・制度要求と提言」の政策課題や、群馬県「第14次群馬県総合計画はばたけ群馬プラン」を点検しつつ、喫緊の課題として、予期せぬ災害発生等、万が一に備えた対応も加えた提言内容とし、９月15日に７分野19項目を知事へ提言しました。

市町村首長には、地協統一課題への取り組みと予算編成を考慮し、９月～11月を目途として提出することとしました。

（１）組織外比率を高め、影響力を高める取り組み（1万部の維持）と意識調査の活用充実

県民目線での意識調査を目指して男女比率５対５を意識した取り組みとして展開し、１万部以上の回収を行いました。従来の調査から設問数を最大10項目に削減し、比較的回答しやすい設問から順に並べ、考えて回答する設問へ変更し、最後にフェースシートを設定するなど答えやすい調査用紙の策定を行いました。

ＨＰでの調査はトップページの見出しを見やすい位置に配置しました。また、関係大学と連携し、学生を中心に調査協力を依頼しました。

【県民意識調査結果】

	県民意識調査
調査期間	２月～５月上旬　最終回収日５月20日
依頼数	11,565名（組織内5,000名、組織外6,565名）
集計数	11,014名（組織内4,738名、組織外6,276名）
回収率	全体95.2%（組織内94.8%、組織外95.6%）
男女比率	男性5,577名（50.6%）、女性5,323名（48.3%）、不明114名（1.３%）

① 政策フォーラムで調査結果報告と提言の考え方を提案　７月30日
（産別・地協・執行部・政策アドバイザー・議員懇・県民199名参加）
講師：群馬県産業経済局　根岸副部長「群馬県の労働政策について」

② 新聞・機関紙あぷろうち・ＨＰへの掲載　７月～８月

（2）関係団体と連携した政策実現

労働局・経営者協会との意見交換を開催し、群馬県の雇用労働情勢の共有化をはかりました。経営者協会と連携を行う中で、群馬県と労働局に対し労使共同提言を行いました。

① 労使合同研究委員会　1月11日
② 経営者協会との意見交換　7月25日

（3）議員懇との連携強化

定期的な県議との意見交換を実施し、議会や委員会等で連合群馬の政策実現に向けた課題について共有しました。

① 群馬県議（議員懇・関係議員）との意見交換　11月30日・7月25日

（4）産別政策の把握と政策提言への反映

産別と意見交換を実施し、地域政策について共有しました。また、今年度の政策提言にマッチするものに関しては、提言内容に盛り込みました。

（5）民主党マニフェスト実行に向けた点検

民主党マニフェスト実行に向けた意見交換は実施できませんでした。今後､取り組むこととします。

【群馬県、市町村への要請】

① 希望と安心の社会づくりへ向けた経済対策に関する知事要請　12月９日
② 2012年度政策・制度要求と提言知事提言　９月15日
③ 2011年度政策・制度要求と提言　地域協議会取り組み結果

地協名	市町村名	提出日	回答日	地協名	市町村名	提出日	回答日
前　橋	前橋市	11月 1 日	11月19日	渋　川	渋川市	11月 5 日	12月10日
高　崎	高崎市	11月 1 日	3 月17日		吉岡町	11月 5 日	―
桐　生	桐生市	1 月25日	2 月18日		榛東村	11月 5 日	11月15日
	みどり市	1 月25日	2 月18日	藤　岡	藤岡市	11月 4 日	12月 3 日
伊勢崎	伊勢崎市	10月29日	11月29日		神流町	11月 4 日	12月15日
	玉村町	10月29日	12月 1 日		上野村	11月 4 日	12月 9 日
太　田	太田市	10月21日	11月25日	富　岡	富岡市	11月12日	12月 7 日
沼　田	沼田市	12月20日	1 月24日		甘楽町	11月12日	12月 4 日
	みなかみ町	12月13日	3 月28日		下仁田町	11月12日	12月 8 日
	片品村	12月13日	―		南牧村	11月12日	―
	川場村	12月13日	12月27日	安　中	安中市	10月28日	11月12日
	昭和村	12月13日	―	吾　妻	中之条町	11月 8 日	12月28日
館　林	館林市	10月18日	11月26日		東吾妻町	11月 8 日	3 月31日
	千代田町	10月29日	12月 6 日		高山村	11月 8 日	2 月16日
	大泉町	10月18日	12月22日		長野原町	11月 8 日	12月 7 日
	邑楽町	10月18日	12月16日		嬬恋村	11月 8 日	―
	明和町	10月21日	12月10日		草津町	11月 8 日	12月 9 日
	板倉町	10月29日	1 月11日				

【セミナー開催】

① 「働くことを軸とする安心社会」学習会（執行部37名参加）　5月17日
　講師：連合本部　吉田次長「本部方針」
② 「働くことを軸とする安心社会」セミナー　6月11日
　（執行部・各種委員・議員懇など207名参加）
　講師：連合本部　山本副事務局長「本部方針」

●２．なんでも労働相談

（１）役職員の相談対応スキルの向上と相談窓口のPR強化

労働相談件数の増加に伴い、相談内容も多種多様になる中、相談員のスキル向上をはかるとともに、依然厳しい雇用情勢を踏まえ、労働相談キャンペーンを通じて多くの勤労者・生活者の支援に取り組みました。特に、キャンペーン期間は、群馬県の広報誌や新聞へ広告を掲載し、各地協と県連合が連携をはかり取り組んできました。

【なんでも労働相談対応状況】

①　労働相談研修会（112名参加）	１月22日
②　労働審判員との意見交換	３月29日・９月27日
③　全国一斉相談ダイヤル	12月６日・７日
④　地域なんでも労働相談会（各地協での面談による相談　14件）	２月14日～20日
⑤　労働相談キャンペーン（電話相談　延べ76件）	２月３日～８日
	３月15日～18日
	５月23日～27日
	６月20日～24日
	７月19日～22日
	８月22日～25日
⑥　ぐんま広報への広告掲載	６月５日
⑦　働く女性の労働相談ダイヤル（28件）	６月17日～19日
⑧　組合づくり相談ダイヤル(２件)	６月20日～24日

（２）労働行政との連携・強化

労働局との実務者会議を開催し、行政運営の共有を深めるとともに労働相談対応に向けた意見交換を実施しました。また、群馬県との労働相談ネットワーク会議を開催し、相談窓口の連携をはかり、関連機関との連携強化に向け意見交換を実施しました。

①　群馬労働局との四役意見交換	12月14日
②　群馬労働局との実務担当者意見交換	12月21日・７月15日
③　群馬県労働政策課との意見交換会	６月21日
④　労働相談ネットワーク会議	８月５日

●３．雇用・労働環境の改善

（１）若年層に対する就労観・職業観の醸成

群馬県経営者協会との意見交換を通じて、「若者の就労観・職業観醸成の取り組み」について、要請書を群馬県と群馬労働局へ公開提言を行いました。

①　労使合同研究委員会	１月11日
②　県・労働局への労使共同提言	１月18日
③　経営者協会との意見交換	７月25日

（２）未就労者の就労観醸成の取り組み強化・拡大

若者の就労観を高める取り組みの拡充に向けて、行政や教育委員会との意見交換を行うとともに、学校訪問などを行いました。また、昨年に引き続き県立太田東高等学校からの要請に対して、経営者協会と連携をはかり、30名が講師として参加し、働く意義を教えることや就業意欲の向上に取り組みました。

① 太田東高等学校公開みらい学（30名参加：14産別・青年委員・経営者協会・県連合）
5月21日
② 若者就職支援・人材育成研究会 6月30日・8月1日・9月1日

（3）労働問題の提言に向けた労働行政への働きかけ

各種審議会や委員会においては、労働者の視点や労働相談結果を踏まえた意見提起を行うとともに、各事務局との意見交換を実施しました。

① 若者就職支援・人材育成研究会準備委員会 11月11日・26日・12月22日
② 地方労働審議会 11月22日
③ 群馬新卒者就職応援本部 12月20日・2月23日
④ 雇用・能力開発機構運営協議会 2月2日
⑤ 労働者派遣事業適正運営協議会 2月16日
⑥ 高年齢者雇用推進委員会 6月30日

（4）法定最低賃金の設定とPRの充実

【2010年度（2010年12月25日発効）特定最低賃金】

	鉄鋼	一般機械	電気機器	輸送用機器
特定最賃額	改定795円	改定784円	改定782円	改定784円
引上額	＋8円	＋7円	＋7円	＋7円
引上率	1.02%	0.90%	0.90%	0.90%

※2011年度の特定最低賃金は10月末までの審議で改定予定

【2011年度群馬県地域別最低賃金】（法定発効日：2011年10月7日）

地域別最低賃金	改定額（時間給）	引上額	引上率
	690円	＋2円	0.29%

●4．非正規労働者支援の強化・充実

（1）労働相談からの組合づくり支援と組織化の推進

労働相談の増加に伴い、労働組合づくりの相談も増加しています。そのような中、組織アドバイザーの協力のもと組織化をはかってきました。また、相談者との連絡を密に取るなど、信頼される支援体制の構築に努めました。

（2）非正規労働センターの機能強化

非正規労働者支援の取り組みにおいては、毎月街宣行動を行い社会的アピールに取り組むとともに、5月・6月を組織強化月間と位置付け、組合づくり支援に取り組みました。また、組織内についても、パートタイム労働者の集いを開催し、非正規労働者の悩みなどを共有し、労働条件向上に向け産別と情報共有をはかりました。

① 非正規労働者支援の社会的アピール
i 街宣行動（県内全域） 2月3日～8日
5月23日～26日
6月20日～23日
7月19日～22日
8月22日～25日

ii　ティッシュ・チラシ配布行動（12地協）　1月～2月・7月～8月
iii　街宣・ティッシュ・チラシ配布（前橋・高崎・太田地協）　7月26日～29日
②　非正規労働センター担当者会議　11月17日
③　パートタイム労働者の集い（7産別55名参加）　9月3日

【街宣行動】

[県連合]

実施日	街宣方面
2月3日	北毛（渋川・沼田・吾妻）
2月4日	中毛（前橋・伊勢崎）
2月7日	西毛（高崎・安中・富岡・藤岡）
2月8日	東毛（太田・桐生・館林）

実施日	街宣方面
5月23日	中毛（前橋・伊勢崎）
5月24日	北毛（渋川・沼田・吾妻）
5月25日	東毛（太田・桐生・館林）
5月26日	西毛（高崎・安中・富岡・藤岡）

実施日	街宣方面
6月20日	西毛（高崎・安中・富岡・藤岡）
6月21日	北毛（渋川・沼田・吾妻）
6月22日	東毛（太田・桐生・館林）
6月23日	中毛（前橋・伊勢崎）

実施日	街宣方面
7月19日	中毛（前橋・伊勢崎）
7月20日	西毛（高崎・安中・富岡・藤岡）
7月2日	東毛（太田・桐生・館林）
7月22日	中毛（前橋・伊勢崎）

実施日	街宣方面
8月22日	北毛（渋川・沼田・吾妻）
8月23日	中毛（前橋・伊勢崎）
8月24日	東毛（太田・桐生・館林）
8月25日	西毛（高崎・安中・富岡・藤岡）

※3月・4月の街宣行動については、東日本大震災により自粛しました。

【議員懇と連携した駅頭演説・PRティッシュの配布】

地協	実施日	場所	地協参加	議員懇参加者
太田	7月26日	太田駅	10名	黒沢・塚原・あべ県議、石倉・久保田市議
前橋	7月27日	新前橋駅	15名	小川県議、宮田・丸山・藤江・角田市議
高崎	7月29日	高崎駅	18名	三宅衆議院議員、後藤・角倉県議、林市議

【戸別や駅頭・街頭でのチラシ配布】　（2011春闘全国キャンペーンチラシ）

地　協	実 施 日	内　　容
沼　田	1月21日	戸別・市内住宅地
館　林	1月28日～2月7日	戸別・市内住宅地
伊勢崎	1月29日	街頭・ベイシア
富　岡	1月29日	街頭・ベイシア・フレッセイ・セキチュー
藤　岡	1月29日	街頭・リセロ
渋　川	1月29日	戸別・市内住宅地
安　中	1月29日	街頭・ベイシア、戸別・市内住宅地
高　崎	1月30日	戸別・市内住宅地
桐　生	1月30日	戸別・市内住宅地
吾　妻	1月30日・2月2日	街頭・ベイシア・レクス
前　橋	2月4日	折込広告・市内全域
太　田	2月6日	戸別・市内住宅地

（公契約で働く仲間の支援「連合タイムズ号外」チラシ）

地　協	実 施 日	内　　容
藤　岡	７月19日～８月27日	街頭・リセロ
館　林	７月21日～８月27日	戸別・市内住宅地
安　中	７月23日	街頭・ベイシア
沼　田	８月３日～27日	戸別・市内住宅地
吾　妻	８月４日	街頭・ベイシア
桐　生	８月７日	駅頭・桐生駅北口・南口
伊勢崎	８月18日・27日	街頭・ベイシア
富　岡	８月20日	街頭・ベイシア・セキチュー
渋　川	７月21日～８月22日	戸別・市内住宅地

●５．ライフサポート事業を通じた支援強化

連合群馬の独自の取り組みとして活動を継続させてきたライフサポートも、相談件数が増加し、県民から理解された結果、県からの支援事業としてサポートしてもらえるようになり、基金を活用し相談体制の強化（１名増員）をはかりました。また、昨年末をはじめ４回のキャンペーンを行い、2010年９月から１年間で478件（リピーター含む）の支援を行ってきました。

（１）ライフサポートキャンペーン結果

① ライフサポートキャンペーン（電話：７件、面談：２件）　12月11日・18日
② ライフサポートキャンペーン（電話：24件、面談：３件）　３月24日～26日
③ ライフサポートキャンペーン（電話：33件、面談：５件）　６月２日～４日
④ ライフサポートキャンペーン（電話：15件、面談：２件）　９月15日～17日
⑤ 新聞広告掲載（上毛新聞５回、読売新聞３回、朝日新聞２回）　10月～９月

（２）産業カウンセラー協会との連携

① 自殺予防に向けた街頭宣伝　９月７日

●６．審議会等委員（群馬県・群馬労働局・前橋地方裁判所　他）

【群馬県関係審議会】（2011年９月30日現在）

◎印は連合群馬男女平等参画推進計画に基づき女性委員を選出

委員会・審議会名	現委員	所属	前委員	所属	前委員任期	備考
群馬県労働委員会	鈴木　英二	ＪＡＭ				
	丸山　　満	ＵＩゼンセン同盟				
	北川　秀一	自動車総連				
	富澤　　誠	電機連合				
	阿部　和彦	連合群馬				
職業能力開発審議会	荻原　浩良	電機連合				
	小林　和弘	ＪＳＤ				
	金子　裕昭	連合群馬	丸山　　満	連合群馬	～2011年３月	
			新井　恒子	電力総連	～2011年３月	◎
献血推進協議会	吉田　　登	連合群馬				
産業教育審議会	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年10月	
介護保険審査会	山端　浄見	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年10月	
群馬県地球温暖化対策推進会議	北川　秀一	連合群馬	大橋　　豊	連合群馬	～2010年10月	

委員会・審議会名	現委員	所属	前委員	所属	前委員任期	備考
群馬県地球温暖化対策推進計画検討委員会	阿部　和彦	連合群馬				
群馬県男女共同参画推進委員会	新井　恒子	連合群馬女性委員会				◎
群馬県高齢者保健福祉計画策定懇談会	富澤　　誠	連合群馬	吉田　　登	連合群馬	～2011年６月	
群馬県多重債務者対策協議会ワーキンググループ	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年10月	
群馬県自殺対策連絡協議会	阿部　和彦	連合群馬				
群馬県少子化対策県民会議	阿部　和彦	連合群馬				
群馬県地域基金事業協議会	金子　裕昭	連合群馬				
群馬県総合計画策定懇談会	北川　秀一	連合群馬	大橋　　豊	連合群馬	～2010年10月	
群馬県行政改革評価・推進委員会	小川　　剛	連合群馬				
群馬県雇用対策本部（外部委員）	北川　秀一	連合群馬				
「日本はひとつ」しごと協議会	阿部　和彦	連合群馬				
若者の就労観・職業観醸成の取り組みに係る検討準備会	阿部　和彦	連合群馬				
	金子　裕昭	連合群馬				
仕事と家庭の両立支援推進アドバイザー会議	吉田　香苗	連合群馬				◎
群馬県地域訓練協議会・緊急人材育成支援事業推進協議会	金子　裕昭	連合群馬				
群馬県地域訓練協議会・緊急人材育成支援事業推進協議会・訓練計画専門部会	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年10月	
群馬県事務・事業見直し委員会	小川　　剛	連合群馬				
群馬県名誉県民選考委員会	北川　秀一	連合群馬				

【労働局関係審議会】（2011年９月30日現在）

◎印は連合群馬男女平等参画推進計画に基づき女性委員を選出

委員会・審議会名	委員名	所属	前委員	所属	前任者任期	備考
地方労働審議会	木闇　裕治	電機連合	富澤　　誠	電機連合	～2011年９月	
	村上　知光	ＪＡＭ	小野田　修	ＪＡＭ	～2011年９月	
	横田　卓也	ＵＩゼンセン同盟	関根　雄二	ＵＩゼンセン同盟	～2011年９月	
	新井　恒子	電力総連				◎
	峯岸　　一	化学総連				
	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年11月	
最低賃金審議会	丸山　　満	ＵＩゼンセン同盟				
	川又　敏之	自動車総連	宮城　俊一	自動車総連	～2011年３月	
	木闇　裕治	電機連合	富澤　　誠	電機連合	～2011年３月	
	渡辺　　聡	ＪＡＭ				
	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年11月	
最低賃金審議会 群馬県最低賃金専門部会	丸山　　満	ＵＩゼンセン同盟				
	木闇　裕治	電機連合	富澤　　誠	電機連合	～2010年12月	
	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年12月	

委員会・審議会名	委員名	所属	前委員	所属	前任者任期	備考
最低賃金審議会 産業別最低賃金専門部会 (鉄鋼)	反町　英孝	基幹労連				
	大谷　祐之	基幹労連	真下　　章	基幹労連	～2010年12月	
	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年12月	
最低賃金審議会 産業別最低賃金専門部会 (一般機械器具)	佐藤　辰家	自動車総連	山端　浄見	自動車総連	～2010年12月	
	小野田　修	ＪＡＭ	小野　浩幹	ＪＡＭ	～2010年12月	
	渡辺　　聡	ＪＡＭ				
最低賃金審議会 産業別最低賃金専門部会 (電気械器具)	小林　　隆	電機連合	富澤　　誠	電機連合	～2010年12月	
	木闇　裕治	電機連合				
	鈴木　英二	ＪＡＭ	中川　文雄	ＪＡＭ	～2010年12月	
最低賃金審議会 産業別最低賃金専門部会 (輸送用機械器具)	川又　敏之	自動車総連	宮城　俊一	自動車総連	～2010年12月	
	村上　知光	ＪＡＭ				
	新田　　規	ＵＩゼンセン同盟				
労働者災害補償保険審査参与	伊藤　　誠	基幹労連				
	金子　裕昭	連合群馬	萬田　雅光	連合群馬	～2010年12月	
労働者派遣事業適正運営協力員	木暮　清司	電機連合				
	井田　昭憲	ＪＡＭ				
	加藤　吉隆	自動車総連	鈴木　一成	自動車総連	～2011年３月	
	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年11月	
	溝脇　　昇	自治労				
	日下部雅淑	ＵＩゼンセン同盟				
	簔輪　　健	情報労連				
	羽鳥　宏一	基幹労連				
	山田　　茂	化学総連				
安全衛生労使専門家会議	鈴木　克志	ＪＡＭ				
	青井　靖夫	電力総連				
	堀口　真明	ＪＲ総連				
	金子　裕昭	連合群馬				
雇用保険審査参与	柳澤　孝司	交通労連				
	金子　裕昭	連合群馬	萬田　雅光	連合群馬	～2011年１月	
高年齢者雇用推進委員会	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年11月	
新卒者就職応援本部構成員	金子　裕昭	連合群馬	春山　　仁	連合群馬	～2010年11月	
労災防止指導員			木闇　裕治	電機連合	～2010年12月	
			堀口　真明	ＪＲ総連	～2010年12月	
			新井　恒子	電力総連	～2010年12月	◎
			吉田　裕昭	基幹労連	～2010年12月	
			鈴木　克志	ＪＡＭ	～2010年12月	
			佐藤　辰家	自動車総連	～2010年12月	
			丸山　　満	連合群馬	～2010年12月	

【関係団体】(2011年９月30日現在)

委員会・審議会名	現委員	所属	前委員	所属	前任者任期	備考
共同募金会（評議員）	吉田　　登	連合群馬				
共同募金会配分委員会	吉田　　登	連合群馬				
ぐんまボランティア・市民活動支援センター運営委員会	新井　　智	連合群馬				
長寿社会づくり財団評議会	吉田　　登	連合群馬				
前橋勤労者総合福祉振興協会(理事)	阿部　和彦	連合群馬				

委員会・審議会名	現委員	所属	前委員	所属	前任者任期	備考
群馬産業保健推進センター運営協議会	北川　秀一	連合群馬	大橋　豊	連合群馬	～2010年10月	
群馬県地域ジョブ・カード運営本部	阿部　和彦	連合群馬				
群馬県独立行政法人雇用・能力開発機構運営協議会及びものづくり人材育成推進協議会	小林　和弘	ＪＳＤ				
	丸山　満	連合群馬				
	横山　隆	高崎地協				
独立行政法人雇用・能力開発機構群馬県地域訓練協議会・緊急人材育成支援事業推進協議会	金子　裕昭	連合群馬	春山　仁	連合群馬	～2011年11月	
独立行政法人雇用・能力開発機構群馬県地域訓練計画専門部会	金子　裕昭	連合群馬				
勤労福祉センター（理事会）	宮川　邦雄	自治労				
	木闇　裕治	電機連合	富澤　誠	電機連合	～2011年３月	
	阿部　和彦	連合群馬				
勤労福祉センター（評議委員会）	丸山　満	ＵＩゼンセン同盟				
	鈴木　英二	ＪＡＭ				
	小川　剛	連合群馬	萬田　雅光	連合群馬	～2011年３月	
社会保険診療報酬支払基金群馬支部幹事	阿部　和彦	連合群馬				
全国健康保険協会管掌健康保険群馬県支部評議会	新井　智	連合群馬				

【関係団体】（2011年９月30日現在）

委員会・審議会名	現委員	所属	前委員	所属	前委員任期	備考
労働審判員	丸岡　昭夫	三洋電機労組出身				
	今井　健司	明星電気労組出身				
	高橋　正好	全日通労組出身				
	新井　勝美	ＮＴＴ労組出身				
	小林　耕作	富士重工労組出身				
	石井　重信	自治労群馬県本部出身				
	堀口　敏子	自治労群馬県本部出身				◎
	新井　啓一	ホシデン労組出身				
	藤掛　徹	ＮＴＴ労組出身				
	清水　康四	ＪＲ東労組出身				

中小労組支援

情報の共有化をはかるとともに、より実効性のある調査を行い、産別・地協・県連合が一体となって波及効果を高める活動を行いました。また、地域では独自性を発揮し、生活改善に向けた学習会などを開催し取り組みました。

１．ＴＬＵ活動の推進（トータルライフアップ）

春季生活闘争では、すべての労働者を対象にした取り組みを進めるとともに、労働条件交渉と政策制度を両輪として取り組みをすすめてきました。

（１）集会

① トータルライフアップ全県集会（360名参加）　１月22日

開催場所：前橋市総合福祉会館

講師：ライフビジョン　取締役社長　奥井　禮喜氏

「労働価値を高めるための労働組合が担う役割と必要性」

講師：連合本部　團野副事務局長「本部方針説明」

（２）情報提供

① 2011トータルライフアップ情報の発信

賃金・一時金の要求・妥結集計（全３回）　３月１日～７月１日

（３）地協学習会

賃金交渉に役立つテーマや「生活改善」に関わるテーマを中心に、各地協独自で設定し学習会を開催しました。

地協名	開催日	内　容
前　橋	５月28日	前橋市政報告
高　崎	１月30日	生活改善を政治の場から、統一自治体選挙に挑む！
桐　生	２月15日	2011連合春季闘争方針説明、地場労組の取り組み紹介
伊勢崎	８月31日	県政報告会､「安心・安全・安定の生活に備える」
太　田	５月23日	ライフステージを見据えた資産運用について ライフプランに基づく保障設計について
沼　田	８月10日	クレサラセミナー　賢い金融機関の使い方
館　林	８月30日	人間関係づくり学習会
藤　岡 富　岡 安　中	３月14日 (合同開催)	勤労者のためのライフプラン、労働法制の改正内容と労働組合の対応
吾　妻	７月２日	労働法制の改正内容と労働組合の対応

（４）本部関係の集会・会議

① 格差是正フォーラム　11月24日

② 関ブロ春季生活闘争推進会議　12月９日～10日

③ 中小担当者合同会議　11月29日・６月30日

④ 全国雇用・労働担当者会議　３月３日

⑤ 連合白書学習会　１月６日

⑥ 全国最賃担当者会議　１月27日・５月30日・７月26日

(5)2011年春季生活闘争賃上げ・一時金集計（9月13日時点）

【要求】　【報告組合数　　要求した139組合　　要求しない27組合】

規模別	賃金カーブ維持分（定昇分）				ベア分のみ（賃金改善含む）			その他		
	集計組合		2011		集計組合		2011	集計組合		2011
	単組	人員	金額(円)	率	単組	人員	金額(円)	単組	人員	金額(円)
全体	63	29,590	2,686	0.41%	35	8,159	2,899	38	10,297	927
300人以上	39	27,539	2,498	0.38%	15	6,566	2,788	17	8,523	571
100人～299人	13	1,676	5,331	1.01%	11	1,241	3,144	11	1,371	2,419
99人以下	11	375	4,671	0.65%	9	352	4,113	10	403	3,394

業種別	賃金カーブ維持分（定昇分）				ベア分のみ（賃金改善含む）			その他		
	集計組合		2011		集計組合		2011	集計組合		2011
	単組	人員	金額(円)	率	単組	人員	金額(円)	単組	人員	金額(円)
製造業	50	25,370	2,439	0.20%	26	3,998	3,465	21	8,267	914
交通・運輸	0	0	0	0.00%	2	1,316	2,003	4	144	3,297
商業・サービス　他	13	4,220	4,170	1.68%	7	2,845	2,518	13	1,886	804

【妥結】　【妥結組合数　　94組合（集計には回答組合も含まれています）】

規模別	賃金カーブ維持分（定昇分）				ベア分のみ（賃金改善含む）			その他		
	集計組合		2011		集計組合		2011	集計組合		2011
	単組	人員	金額(円)	率	単組	人員	金額(円)	単組	人員	金額(円)
全体	54	20,799	3,353	0.60%	16	2,320	3,173	17	1,218	1,288
300人以上	33	19,249	3,342	0.60%	4	1,384	2,889	6	657	62
100人～299人	9	1,112	3,559	0.54%	6	711	4,040	5	343	3,291
99人以下	12	438	3,287	0.79%	6	225	2,181	6	218	0
業種別	賃金カーブ維持分（定昇分）				ベア分のみ（賃金改善含む）			その他		
	集計組合		2011		集計組合		2011	集計組合		2011
	単組	人員	金額(円)	率	単組	人員	金額(円)	単組	人員	金額(円)
製造業	45	15,559	2,788	0.17%	13	2,112	3,466	9	500	2,167
交通・運輸	1	1,212	6,606	1.96%	1	104	0	2	61	810
商業・サービス　他	8	4,028	4,556	1.87%	2	104	397	6	657	662

【参考：地域別集計】　※地域が重複している単組は、それぞれの地域集計に含まれています。

地域別	賃金カーブ維持分（定昇分）				ベア分のみ（賃金改善含む）			その他		
	集計組合		2011		集計組合		2011	集計組合		2011
	単組	人員	金額(円)	率	単組	人員	金額(円)	単組	人員	金額(円)
前橋	17	6,230	4,727	1.16%	6	3,096	2,950	11	1,814	1,062
高崎	19	11,065	2,357	0.67%	11	4,723	2,955	9	1,821	363
桐生	9	4,067	5,698	1.82%	10	3,489	3,180	9	5,083	274
伊勢崎	13	15,187	2,369	0.57%	11	3,517	2,403	8	1,330	891
太田	17	13,159	1,637	0.55%	8	3,451	3,102	17	3,588	1,107
沼田	4	3,149	4,682	1.96%	4	2,399	3,437	7	4,400	145
館林	10	4,590	4,316	1.65%	7	3,686	2,565	7	1,519	791
渋川	7	4,273	4,541	1.69%	5	2,948	2,783	5	896	321
藤岡	8	4,947	3,611	1.43%	4	2,906	3,912	6	4,529	529
富岡	6	3,743	4,014	1.66%	4	2,369	4,128	3	3,961	73
安中	4	1,971	4,724	1.79%	2	897	5,513	4	892	2,348
吾妻	2	3,208	647	0.22%	1	340	7,100	2	577	499
前橋	12	5,680	4,877	1.19%	1	90	2,404	3	423	0
高崎	21	11,912	2,798	0.00%	3	213	1,200	3	423	0
桐生	5	2,929	5,009	2.16%	3	957	3,904	5	443	1,440
伊勢崎	10	6,429	4,875	1.17%	4	337	1,957	4	468	301

地域別	賃金カーブ維持分（定昇分）				ベア分のみ（賃金改善含む）			その他		
	集計組合		2011		集計組合		2011	集計組合		2011
	単組	人員	金額(円)	率	単組	人員	金額(円)	単組	人員	金額(円)
太田	8	4,154	3,819	1.63%	2	284	5,177	7	711	464
沼田	3	2,809	5,026	2.18%	1	150	4,500	3	219	183
館林	9	4,557	4,602	1.77%	1	247	1,044	3	206	1,795
渋川	6	3,933	4,471	1.73%	1	42	2,159	1	144	0
藤岡	7	4,607	3,756	1.57%	0	0	0	3	423	0
富岡	6	3,523	4,207	1.81%	0	0	0	1	144	0
安中	4	1,652	5,590	2.23%	0	0	0	2	170	291
吾妻	1	2,868	0	0.00%	0	0	0	1	144	0

●２．地域ミニマム運動

賃金分析結果の参加組織へのフィードバックは継続しつつ、地域ミニマム額は、県内労働者の賃金の底上げをはかるため、法定最低賃金の交渉材料に活用することとしました。

（１）賃金実態調査およびミニマム金額の設定

① 調査参加組合ならびに組合員数　34組合　2,934名

② 2011年ミニマム金額設定　18歳　154,000円

●３．ディーセントワーク

ディーセントワーク世界行動デー集会（230名規模）　10月14日

組織運営体制強化

●１．連合群馬活動の点検と強化・充実

地域に根ざした労働運動を目指すなかで、連合群馬と地協はステップアップした運動を展開してきました。しかし、地協改革の連合本部方針を踏まえた中で、個別課題を共有し、今後のあり方を検討すべく、意見交換や検討委員会を設置し論議を行ってきました。

（１）活動の点検とフォロー

① 地協との意見交換会　１月～２月

（２）地協活動のあり方検討と論議を踏まえた対応

① 関ブロ地域協議会役員会議（４名）　２月14日・15日

② 地協活動強化に向けた地方連合視察（神奈川、長野）　６月29日・30日、７月５日・６日

③ 地協活動に関わる地協議長・事務局会議　９月４日

④ 地協活動検討委員会　３月～10月

●２．人財育成と組織強化

（１）組織強化に向けた取り組み

① 新任役員研修（産別、地協60名）　12月11日

仲間づくり

組合づくりの相談件数は年間14件で、増加傾向にあります。県連合主体で組合づくりを進める場合でも、労働者からすると産別や構成組織の支援を得ることは安心感につながります。さらなる、産別・構成組織、地協と連携強化をはかり、組合づくりに取り組みます。

１．組織拡大の推進

（１）組合づくりの積極的な支援

① 全国組織アドバイザー研修会（３名） 11月24日・25日

② 組合づくり・オルガナイザー中央研修会（基礎編）（４名） ９月27日・28日

③ 連合群馬ユニオン新規加盟労組

労　組　名	所在地	組合員数	結成日
セイモー労働組合	高崎	22名	12月11日
群馬連合新聞折込労働組合	前橋	14名	12月23日
三益半導体工業労働組合	高崎	拡大中	１月16日
榛桐会労働組合	高崎	79名	７月20日
アミ・花夢労働組合	前橋	5名	７月28日

④ 連合群馬ユニオン第12回定期大会（７組合・ユニオン役員　19名参加）

⑤ 連合群馬ユニオン賃金学習会（10名）

⑥ 産別との連携における組合結成

組合づくりの相談について、関係組織や産別と連携し取り組みを行い、１産別・２組織について組織化し、現在も２産別と連携し取り組み中です。

【産別新規加盟労組】

産　別	労　組　名	所在地	組合員数	備　考
自動車総連	日産労連 サンユー労働組合	桐生	159名	
	日産労連 両毛ビジネスサポート労働組合	桐生	75名	労働相談から連携した取り組み
	日産労連　河西工業労働組合	邑楽	263名	
	スズキ労連　スズキ自販労組	前橋	161名	
電機連合	ＯＫＩグループ労働組合連合会 沖情報システムズユニオン	高崎	90名	
ＪＡＭ	ジーテクト労組	太田	167名	

⑦ 地協・組織アドバイザーと連携した地場企業、労組への訪問や情報・意見交換 通年

（２）未加盟組合への支援や加盟に向けたアプローチ

フェスティバルチラシを活用した訪問活動は、震災の影響で自粛したことや組合づくり相談が増加したこともありターゲットの絞り込みを行い実施しました。

① 未加盟組合への訪問 通年

② ターゲット企業の絞り込みを行い情報の共有化 １月18日

（３）産別・地協との連携強化

産別・地協・県連合が役割と責任を踏まえ、例年より延長し６月から９月を集中期間と位置付けて組織拡大に取り組みました。

① 産別・地協担当アドバイザーの設定 １月18日

② 組織拡大集中期間の取り組み　６月～９月

ⅰ 労働組合組合づくり研修会（渋川会場51名、太田会場38名）　６月８日・15日

講師：自動車総連組織拡大アドバイザー　山田幸一氏「労働組合をつくるには」

講師：連合群馬組織アドバイザー　「労働組合結成事例」

ⅱ 労働組合づくり相談ダイヤル（18件うち組合関係２件相談）　６月20日～26日

ⅲ 労働組合づくり広報活動（新聞折込150,000枚、上毛新聞広告）　６月16日・17日

ⅳ 地協幹事会での情報共有　７月～８月

③ 組織拡大への産別・地協の協力体制強化の確認　８月９日

●２．関係団体との連携強化

（１）関係団体との意見交換

① 刀水クラブとの意見交換　２月９日

② 経営者協会との意見交換　９月14日

政治活動の強化

政治センター常任委員会ならびに持ち回り委員会を開催し、推薦基準の見直しや、自治体議員選挙、第17回統一地方選挙を中心に論議を行ってきました。民主党政権になってから初の統一地方選挙では、逆風が吹きたいへん厳しい情勢でありましたが、推薦・支持・支援した28名のうち、25名が当選を果たし、一定の評価ができる結果を残すことができました。

●１．首長や議員との連携強化

政策実現に向けて、議員懇と連携し県民意識調査から提言、議会での発言など幅広く連携をはかることができました。群馬県に対し経済対策に対する要望書の提出や労使セミナー、政策提言へ知事自ら参加し意見交換を行うことができました。

（１）議員と意見交換

① 県議会議員との意見交換　１月11日・６月14日・９月16日

●２．政治活動の重要性の徹底

コンプライアンスを徹底した政策実現活動ができるように研修会を開催し、政治活動や関連するルールなどの理解を深める取り組みに努めました。また、渋川市議選、統一地方選挙における推薦・支持・支援候補者全員の当選に向けて、組合員や組合員の家族を対象に期日前投票の利用促進などに取り組みました。併せて統一地方選挙では、産別と地協から意見・要望を募り、候補者の出身組織がない地域での支援体制整備に初めて取り組みました。

（１）政治研修会（200名）　２月26日

講師：連合本部　菅家事務局長

講師：五百蔵弁護士

（２）自治体議員選挙

① 渋川市議会議員選挙（１月30日告示・２月６日投開票）

候補者名	推薦組織	得票	結果	備考
篠田　徳寿	基幹労連	1,602	当選	推薦
南雲　鋭一	ＪＥＣ連合	1,300	当選	推薦

（3）第17回統一地方選挙

① 群馬県議会議員選挙（4月1日告示･4月10日投開票）

候補者名	選挙区	推薦組織	得票数	当落	備　考
小川　あきら	前橋市区	前橋地協	10,818	当選	支持
本郷たかあき		前橋地協	6,102	落選	支持
後藤　かつみ	高崎市区	自治労	14,624	当選	推薦
かどくら邦良		高崎地協	11,065	当選	推薦
大沢　幸一	桐生市区	ＪＰ労組	15,417	当選	推薦
つかごし紀一	伊勢崎市区	伊勢崎地協	9,761	当選	推薦
黒沢たかゆき	太田市区	自治労	8,943	当選	推薦
あべ　ともよ		太田地協	12,641	当選	支援
茂木　　直久	館林市区	館林地協	6,876	落選	支援
塚原　ひとし	邑楽郡区	電機連合	無投票	当選	推薦
金子　わたる	渋川市区	渋川地協	14,523	当選	支持
関口　しげき	藤岡市区	藤岡地協	10,318	落選	推薦
茂木　ひでこ	安中市区	安中地協	無投票	当選	支持

② 首長選挙（4月17日告示・4月24日投開票）

候補者名	選挙名	推薦組織	得票	結果	備考
富岡　賢治	高崎市長	高崎地協	56,300	当選	支持

③ 市議会議員選挙（4月17日告示・4月24日投開票）

候補者名	選挙名	推薦組織	得票数	結果	備考
林　つねよし	高崎市	自治労	3,717	当選	推薦
高橋　みなお		ＪＲ総連	4,727	当選	推薦
山田　ゆきお		私鉄総連・政労連	4,405	当選	推薦
三島　くみこ		高崎地協	3,553	当選	支持
周藤まさひこ	桐生市	自治労	1,968	当選	推薦
そのだ　恵三		電力総連	2,924	当選	推薦
こたき　芳江		桐生地協	1,711	当選	推薦
井田やすひこ		桐生地協	2,595	当選	推薦
石倉　みのる	太田市	自動車総連	4,716	当選	推薦
久保田たかし		電機連合	2,142	当選	推薦
高柳　かつみ	沼田市	ＪＰ労組	1,357	当選	推薦
柳沢ひろゆき	安中市	ＪＲ総連	1,285	当選	推薦
つちや　　弘		化学総連	1,637	当選	推薦
伊藤　　正雄	みどり市	情報労連	無投票	当選	推薦

（4）連合群馬議員懇談会

① 定期総会（34名参加）　12月18日

1年の活動報告と、連合群馬の政策制度の実現に向けた取り組み、連合群馬の活動支援の推進、ブロック協議会運営の推進、連携議員の拡大に向けた連携強化、政策実現に向けた政権与党との連携強化、統一地方選挙をはじめとする各種選挙に向けた対応強化などの活動方針を確認しました。

② 議員懇談会学習会

実施日	テーマ	講師・視察先	参加数
２月10日	群馬県の新年度予算について	群馬県財政課長　江口哲郎氏	25名
７月20日	宿泊学習会 第1部　環境関連視察学習 第2部　各級議会報告・意見交換 ※群馬県危機管理室長からの講演を予定していたが台風9号の対応により急遽参加不可となった。	第1部　渋川県産材センター 第2部　会員	35名
８月10日	議会基本条例制定に向けた勉強会 ※リベラル群馬と共催	法政大学教授　廣瀬克哉氏	17名

③ 議員懇談会へ参加呼びかけがあった他団体主催学習会（自由参加）

実施日	テーマ	講師
10月26日	群馬自治労会館公開シンポジウム ○基調講演　「地域主権改革と安全安心社会の構築」 ○シンポジウム「住みよい地域社会」のための施策を巡って	東大名誉教授　神野直彦氏
６月18日	自治労群馬県本部・第35回地方自治研究群馬県集会記念講演 ○地域を変える自治研力	丹南市民自治研究センター理事長　伊藤藤夫氏

④ 非正規労働者支援に向けた取り組み

地協を中心に展開された連合群馬の非正規労働者支援街頭行動に取り組みました。

※詳細はＰ54～56参照

⑤ 会員の参加・協力状況

	取り組み内容	参加率(%)	対前年比
議員懇主催	議員懇第21回定期総会	85.0	-12.4
	群馬県新年度予算についての学習会	57.5	+18.0
	渋川県産材センター視察（2011年度宿泊学習会）	79.5	+12.1
	議会基本条例制定に向けた勉強会	38.6	－
連合群馬主催	連合群馬・地協「政策制度要求と提言」参加状況	65.0	+ 5.5
	政治研修会	50.0	－
	新春労使共同セミナー	77.5	+ 6.4
	2011ぐんまふれあいフェスティバル	92.5	+ 9.6
	政策フォーラム	63.6	+21.1
	県民意識調査（回収率）	105.0	- 0.2

⑥ ブロック協議会幹事会・学習会

地域課題の共有や学習を行うとともに、ブロック内での会員同士・相談役との連携強化をはかってきました。

ブロック	開催日	内容
西毛	２月17日	・統一地方選挙と今後の活動について ・相談役との意見交換
東毛	１月26日	・東毛地域の振興策について ・相談役との意見交換

地域との連携・強化

連合群馬を象徴する取り組みへと発展してきたぐんまふれあいフェスティバルは、地域の他行事との競合や実行委員が他の会場を訪問することができないとの意見や統一地方選挙の取り組みなどを踏まえ、開催日に幅を持たせて開催するとともに、３月11日に発生した東日本大震災の復興支援を前面に出し開催し、これまで積み上げてきた取り組みが、着実に地域住民への浸透・定着につながっており、過去最高の来場者を得ています。また、統一テーマを連合の復興支援のキャッチフレーズである「つながろう　ＮＩＰＰＯＮ」とし、地域性を活かしながら一体感のある取り組みを展開しました。

１．ぐんまふれあいフェスティバル

参加者は県全体で、過去最高の51,700人、前年比3,040人増加という結果になりました。

地　区	参加者数	対前年実績	地　区	参加者数	対前年実績	地　区	参加者数	対前年実績
前　橋	6,000	－1,000	太　田	6,500	±0	藤　岡	3,500	＋500
高　崎	11,000	＋1,500	沼　田	2,600	＋40	富　岡	3,800	＋100
桐　生	3,900	＋400	館　林	3,500	＋700	安　中	3,100	＋100
伊勢崎	4,000	＋900	渋　川	2,800	－200	吾　妻	1,000	±0

（１）震災支援の取り組み

東日本大震災の被災地や風評被害を受けている被災地の農海産物を購入し、フェスティバルにおいて販売し、被災地支援に取り組みました。

地　協	金　額（円）	地　協	金　額（円）	地　協	金　額（円）
前　橋	198,978	高　崎	252,928	桐　生	175,808
伊勢崎	185,177	太　田	353,851	沼　田	113,469
館　林	108,986	渋　川	204,521	藤　岡	90,009
富　岡	167,496	安　中	359,081	吾　妻	91,248
				合　計	2,301,552

（２）全労済との連携

５月15日・５月22日

ぐんまふれあいフェスティバルにおいて、「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」を全労済と連携し取り組みました。

起震車	煙体験	消火体験	自炊体験	試食	延べ参加数	アンケート
1,100名	820名	380名	120名	1,620名	4,040名	636